

筑後川水系巨瀬川流域治水プロジェクト項目（案）

～流域のあらゆる関係者が協働し、水害、土砂災害等に対する強靱な地域づくりの推進～

- 豪雨災害の頻発化、激甚化を踏まえ巨瀬川流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体の水害、土砂災害等に対して、強靱な地域づくりを進めるため、流域の人々の「暮らしを支える基盤となる」川や、山、人里で、被害をできるだけ減らす対策、被害対象を減少させるための対策、被害軽減や早期復旧・復興のための対策を推進する。
- 次世代にふるさとを守り引き継いでいけるよう、災害リスクを自分事と捉え行動し「水害や土砂災害を受けても強く、しなやかに生活を再開できる地域づくり」を目指す。

川とその周辺での対策

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 1) 安全に流す
 - ・河川改修等事業（河道掘削、築堤、樋門・樋管、橋梁改築等）
 - ・ダム の 事前放流の実施
 - ・背水対策の検討 ・洪水調節施設の検討
 - ・河川・水路等の堆積土砂の維持管理 ・支川の対策
- 2) 氾濫水を減らす（流出緩和や浸透）
 - ・水田・水路・ため池等農業施設の活用と適切な施設管理・整備
 - ・雨水貯留施設等の検討・整備
 - ・浸透対策の推進

山での対策

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 1) 土砂災害の防止
 - ・砂防堰堤等の整備
- 2) 治山：荒廃渓流の安定化や山腹崩壊地の復旧
 - ・治山施設の整備
- 3) 森林整備：森林の有する多面的機能を継続的に発揮
 - ・森林整備の推進（間伐、針広混交林化、山地保水機能の向上等）

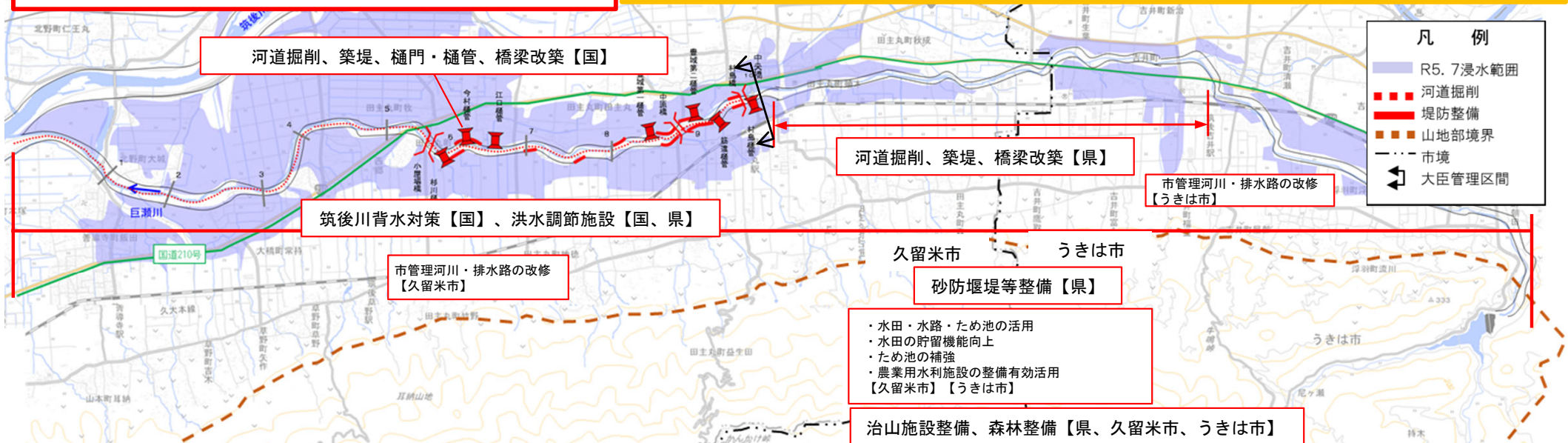
人里での対策

■被害対象を減少させるための対策（浸水被害を増やさない）

- 1) 貯留機能等の確保
 - ・貯留機能を持つ土地（農地等）の保全
- 2) 安全な居住区の確保
 - ・災害リスク情報の充実（多段階浸水リスク等）と情報の発信
 - ・土砂災害警戒区域等の見直しによる土砂災害リスク情報の充実
 - ・災害リスクを踏まえた土地利用の取組
- 3) 減災につながる工夫
 - ・住まい方の工夫の検討
 - ・地域の大切な施設の対策等の検討

■被害の軽減、早期復旧、復興のための対策（命を守る行動につながる対策）

- 1) 情報の充実
 - ・危機管理型水位計や河川監視カメラの増設 ・内外水一体水害リスクマップ ・浸水センサの設置
 - ・洪水予測の高度化 ・気象情報の充実と予測の高度化 ・防災情報発信ツールの拡充
 - ・気象情報等の使い方の工夫
- 2) 安全な避難行動
 - ・自助・共助の充実のための防災学習の支援 ・防災士等への研修、助成
 - ・安全な防災の拠点の確保 ・安全な避難ルートの確保・周知等の検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。